



各 位

上場会社名 株式会社 エスイー

代表 者 代表取締役社長 宮原 一郎

(コード番号 3423)

問合せ先責任者 取締役常務執行役員管理本部長

野島 久弘

(TEL 03-3340-5500)

特別利益の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

当社が保有する投資有価証券の一部を売却したことにより、下記のとおり投資有価証券売却益(特別利益)が発生いたしましたので、お知らせいたします。これに伴い最近の業績動向を踏まえ、2021年10月25日に公表しました2022年3月期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 投資有価証券売却の理由

コーポレートガバナンス・コードに基づく政策保有株式の見直しおよび資産効率の向上と財務 体質の強化を図るため。

2. 投資有価証券売却益の内容

(1) 売却資産の種類 当社保有の有価証券 1 銘柄

(2) 売却年月日 2022 年 3 月 28 日

(3) 投資有価証券売却益 2022 年 3 月期 242 百万円

3. 業績予想の修正について

2022年3月期 通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日~2022年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	23, 621	1, 761	1,779	1, 127	37 円 48 銭
今回修正予想(B)	24, 097	1, 906	1, 928	1, 524	50円67銭
増減額(B-A)	475	145	149	396	_
増減率(%)	2.0	8.3	8. 4	35. 2	_
(ご参考) 前期実績 (2021 年3月期)	22, 801	1, 185	1, 200	632	21円09銭

4. 業績予想修正の理由

当社業績におきましては、基調として、国土強靭化の対応や高速道路リニューアル関連工事による建設用資機材の製造・販売分野での好調が続いております。2021年10月25日に公表しました業績予想におきましても、その基調は変わりませんが、下半期につきましては、上半期に見られました工程の早期化による前倒し納入依頼は落ち着く一方、原材料費の高騰による仕入価格の上昇を想定し、上半期に比し業績の伸長は相当程度鈍化すると予想しておりました。しかしながら、原材料価格上昇の影響はあるものの本格化するのは2022年度以降になると見込まれること、新型コロナウイルス感染症の拡大に対する移動制限等の影響がまだまだ残っており、経費が抑制出来ていることより、2022年3月期連結業績予想につきまして、売上高ならびに営業利益および経常利益におきまして、発表予想を上回る見込みであります。

また、親会社株主に帰属する当期純利益については、特別損益において、上記1. による投資有価証券売却益を計上することなどにより、前回発表予想を上回る見込みとなりました

5. 配当予想

配当予想につきましては、前回予想(期末配当11円)からの変更はありません。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際は、 今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上